

寄稿

# 千倉アワビ街道 ウオーキングのお誘い

渡米したアワビ漁師のふるさとを歩こう

南房総 鈴木 政和

私たちは、明治期に顕彰され、かつて住ん  
南房総から渡米したアワビ漁師たちの歴史文  
「アワビ漁師たちの歴史文「ビレッジ」と公式に命  
化について調査研究を名されています。

進め、歴史を共有する 一方、弟の仲治郎は  
カリフォルニア州モン 帰国し、七浦村千田  
トレー湾域の人々と15 (現・南房総市千倉町)  
年にわたり交流をして に住み、水産界のみな  
います。

アワビ移民のリー や教育・文化に至るま  
ダーは、長尾村根本 で、安房地域の発展に  
(現・南房総市白浜町) 幅広く関わっていった  
出身の小谷源之助・仲 と考えられます。

治郎兄弟です。ヘル さらに同じ集落の  
メット型の器械式潜水 人々を中心に潜水士を  
具を導入し、寒流の海 養成して、アメリカに  
でアワビ漁を行いました 送り込みました。兄に  
た。兄の源之助は米国 比べるとあまり知られ  
にとどまり、缶詰工場 ていませんでしたが、  
などのアワビ事業に成 私たちは仲治郎の活躍  
功しました。

日米開戦後は強制収 近年、仲治郎の旧宅  
容所に移送され、移民 を解体することとな  
の歴史は幕を閉じまし り、私たちは遺族から  
たが、戦後50年を経て 管理を任せられた際、許  
源之助の功績は米国で 可を得て、屋内の資料な

を調査しました。そ めていた矢先、台風  
こで、襖(ふすま)の 15号の直撃により、資  
下張りとして使われて 料を保管していた建物  
いた大量の古文書が見 は全壊してしまいま  
つかりました。

旧宅は大正期に建て 私たちは、散乱し水  
られたもので、見つ 没した資料を一枚ずつ  
かった古文書は実家の 拾い集め、「千葉歴史・  
水産問屋・金澤屋に関 自然資料救済ネット  
わる勅定書類や、家族 ワーク」の専門家の指  
や友人らと交わした書 導により冷凍・圧縮・  
簡、七浦尋常小学校に 乾燥の手順を繰り返  
関わるものなど、ほと て原状回復し、半年か  
んどが明治期の資料で けて古文書レスキュー  
した。当時不要となっ に成功しました。

ら、さまざまな産業 紙類を襖(ふすま)  
や教育・文化に至るま の下地に再利用したた  
めに、古文書はちぎら 文書を取り出して分類  
れた断片になっていま してしています。研究チ  
すが、貴重な歴史資料 ムは、くずし字の解説  
の大発見となりまし と専門家の添削の後  
た。 に、データ入力・目録

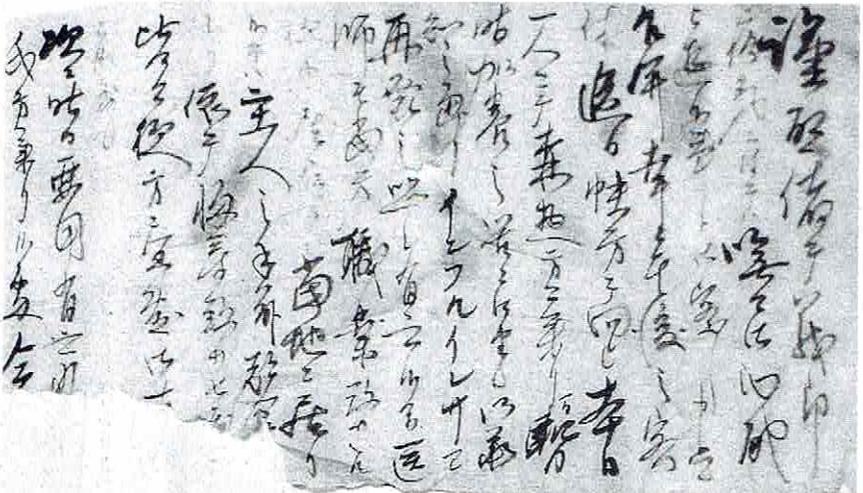
昨年度より南房総市 作成と作業を進めてい  
の市民提案型まちづく ます。今のところ15  
りチャレンジ事業に採 O枚ほどが完了しまし  
択され、「アワビがむ たが、まだ半分くらい  
す南房総・モント 残っています。

「民間交流史研究」 これまでのところ、  
に取り組んできまし 根本の金澤屋に関わる  
た。大量の古文書を紙 書簡から、布良にも支  
質や筆跡別に分類し、 店があったことや、新  
封筒に仕分けして目録 鴻の佐渡や秋田の能代

を作成する作業を進 などに出向いて漁業を

は慶応義塾幼稚舎に、 弟の仲治郎は水産伝  
習所に就学させていま す。金澤屋当主であり  
兄弟の父・小谷清三郎 と母・たよの多数の書  
簡からは、夫婦で水産 業に取り組んでいた姿  
や子どもたちの教育に 対する考えも見えてき  
ます。

きたる3日(文化の 日)には、渡米したア  
ワビ漁師のふるさとを めぐるウオーキング  
を開催します。午前10 時に旧七浦小学校(現・  
七浦診療所)駐車場を 出発し、仲治郎の昔  
提(ぼだい)寺である 長性寺で墓参り寺子屋  
講座を開催します。寺 子屋講座ではアメリ  
カで紹介されたNH K番組の視聴と、古文  
書研究の状況を報告し ます。参加希望者は、  
健康に留意しマスク着 用のうえご集合くださ  
い。



襖の下張りとして使われていた古文書の一部

また、水産伝習所 さらに教育熱心な小  
(現・東京海洋大学) 谷家では、明治中期  
の卒業生や農商務省関 の段階で、兄の源之助  
ます。

(房総アワビ移民研究 所長)